

令和6年5月31日



学校だより 6月号

神奈川県立平塚盲学校

「あたらしいこと、変化」

副校長 澤田 丈嗣

四月が過ぎGWを超えて五月の半ばに入ったいま、新しい職場の中で自分の居場所と呼べるような場所に馴染みはじめ、四月に初めましてと挨拶を交わした人とも多少の親しげさが生まれ、せわしく感じた時間も少し速度を緩めて動いているように感じられるようになってきました。

このような時期、新しい職場の慣れない中で新しい業務に取り組む時には、ひどく緊張しうまくやり通せるかと心配し、果ては、またの機会にと手を止めてしまうことがしばしばあります。そんな時には、机の引き出しにある昨年度の書類やマニュアルやらを取り出して傍らに置き、その内容通りに一つ一つこなすことで、どうにかやり終えることができ安堵するといった体験は共感してもらえないものではないでしょうか。

新しい環境に身を置いた当初は、このようなことを幾度も繰り返し、そんな日々を重ねる中でいつの間にか傍らにいつも置いておいたものが元あった引き出しにひっそりと戻り、以前から当たり前のようにできていたかのようにやり終えることができるようになってくるものです。

そんな新しい環境や状況に適応することができる私たちにはどんな力が備わっているのかあらためて考えてみると不思議です。

そんな能力の一つに脳の記憶の機能があると言われていています。私たちが楽しかった思い出を人に語ったり、買い物で額面通りに硬貨を取り出したりすることができるのもその機能が働いているためであるとのことです。

概説書には、新しいことの記憶には、脳内の神経細胞の可塑的な結合と長期増強と呼ばれる神経組織の伝達効率が長期的に増強される現象などが関係していると記されています。

例えば、新しい道順を覚える場合には、曲がり角に差し掛かる時に建物や音、匂いなどの手掛かりから、「ここの建物の角を左に折れて真っすぐの道を進む」などのように順序立てて考えますが、この建物などの手掛かりにより興奮した神経細胞が、左に曲がるといった行動の神経細胞を興奮させ、その結果、この神経細胞間の結びつきが前より強くなり、これが繰り返される度に益々強くなっていき、より効率的に繋がりやすくなることで道順を覚え行動がスムーズになるようです。

新しい知識や身体技能を身に付けたりするために反復して繰り返し学習や運動を行うことは、脳内の神経ネットワークの新たな書き換えともいえるべき身体的な変化が起きているということのようです。

当然、学校での教育活動を通じた学びにもこの脳内の記憶の機構が大きく関与しています。新しいことにチャレンジすることは、うまくいかず大変なことではありますが、日々の取り組みの中で新たな自分に変化し成長していくことでもあるということです。

学校はそんな変化し成長する皆さんを支援し応援していきます。

6月行事予定

- 5日(水) 中高前期中間試験 小学部面談
- 6日(木) 中高前期中間試験 小学部面談
- 7日(金) 中高前期中間試験 体重測定(幼小) 小学部面談 一斉帰省
- 8日(土) 開校記念日
- 10日(月) 体重測定(中普1組・中1-2) 舎・第2回避難訓練 舎・囲碁
- 11日(火) 前期あいさつ運動(~14日) 体重測定(普1-2、2-2)
学校間交流(幼平ろう) 部活 舎・リーディングサービス
- 12日(水) 精神科相談 体重測定(普3-2)
- 13日(木) 第1回避難訓練 関盲連代議委員会 医療器展示会 15:00
- 14日(金) 一斉帰省
- 18日(火) 第1回学校運営協議会 学校間交流(相模原中央支援) 部活
- 20日(木) 第1回避難訓練(予備日) 舎・囲碁
- 21日(金) 特別支援学級新担当教員研修講座 視覚補助機器展示会 一斉帰省
- 22日(土) 関東地区盲学校FV大会(埼玉)
- 25日(火) 部活 舎・リーディングサービス
- 26日(水) 平塚駅安全教室(保専部)
- 28日(金) 一斉帰省

7月行事予定

- 1日(月) あま指模試
- 2日(火) はき模試 部活
- 4日(木) OT相談
- 5日(金) 一斉帰省
- 8日(月) 舎・寮祭
- 9日(火) 部活
- 12日(金) 一斉帰省
- 16日(火) 月曜日課 部活
- 17日(水) 給食最終日
- 18日(木) 短縮日課
- 19日(金) 短縮日課 終業式 一斉帰省

